

清水町では、町ぐるみで子どもたちを育てていくコミュニティ・スクールが進められています。コロナ禍であっても子どもたちは生き生きと活動していますので、町民と子どもたちのかかわりを中心に、その様子をお伝えいたします。

しみず保育所

なつの花といえば！？

『ひまわりの絆プロジェクト』をご存知でしょうか。

『ひまわりの絆プロジェクト』とは全国でひまわりの花を咲かせ、交通安全と命の大切さを訴えていくものです。今年は5月18日に、ひまわり組全員でしみず保育所の畑に植えました。

清水交番署長が来所してくださり、この種植えの意味を話してくださった時は真剣な眼差しで話を聞いていた子どもたちでした。種を大事に握りしめ、担任の指示に従い、種を植えました。土に自分の指1本分の穴をあけ、そっと種を入れ、“早く大きくなってね！”“綺麗な花を咲かせてほしい！”という気持ちを込めて優しく土をかぶせていました。

それからは外に出る度、畑の様子を気にしている子どもたちです。



御影こども園 ひまわり農園



今年も食育の一環として、年長児ひまわり組が畑の世話をしていきます。

保護者の方から堆肥を頂き、畑にすき込んで準備完了です。

今年は、自分達で育てたい野菜を話し合い、Aコープに種を買いに行きました。家族と一緒に買い物を経験している子は「〇〇売っていたよ」など、

自分の経験を話していました。

天気の良い日を待って、買ってきた種をまきました。



た。

また、遠足では、町中にある商店や建物などを探し歩くスタンプラリーでAコープも回りました。

身近にあるお店を知ったり、すれ違う人と挨拶したりと良い経験になりました。



清水幼稚園

こぐまクラブ集合訓練（4月）



とを目的として、交通安全教室を行っています。こぐまクラブの皆さんは、子どもたちに興味をもってもらって、

幼稚園の「こぐまクラブ」で集合訓練が行われました。この会は幼児の悲惨な交通事故をなくすため、幼児と父母が一体となって交通ルールを学び、子どもの健全育成を図るこ



自分たちで交通安全に気を付けてもらえるように工夫しながら活動しています。
自己紹介の後に、「アブラハム体操」でウォーミングをして体と心を温めました。



そして、交通安全の7つのお約束を確認したり、「赤・青・黄色の歌」を歌ったり、コロタン紙芝居を見たり、交通安全について繰り返し学びました。

子どもたちは、真剣に話を聞き、楽しそうに参加していました。訓練は今後も継続して行います。

こぐまクラブの皆さん、ありがとうございました。各ご家庭と協力しながら交通安全に対する意識を高めるための大切な活動です。これからもよろしくお願い致します。

清水小学校

梶山さんに種芋の植え方を教わりました

畑の季節です。清水小学校では、区画割りされた学級園に、各学年が育てたい作物を植えます。

5月18、21日の低学年種芋植えのときには、ジャガイモ生産農家の、梶山さんに来ていただきました。

梶山さんから種芋をいただき、一人一人手作業で植えていきました。梶山さんから



いただいた種芋は大きさが揃っていて、低学年が植えるのに丁度いい大きさでした。梶山さんには丁寧に、分かりやすく植え方をご指導してくださいました。指の長さくらいの穴を掘り、その中に種芋をそっとおき、芋が日光にさらされることのないように、たくさんの土をふんわりとかぶせました。

今回教えていただいた 1 年生と 2 年生
たちは、ジャガイモが元気に育つことを願
いつつ、心を込めて種芋を植えました収穫
の秋を楽しみにしながら、これから草取り
などのお世話をしていきます。



御影小学校

3つの「あ」の運動～あいさつ運動

本校における3つの「あ」の運動は、多くの保護者の
皆様をご存じのことでしょう。

3つの「あ」は、「あいさつ」「あとかたつけ」「ありが
とう」の最初の一文字から付けられました。今回は「あ
いさつ」に視点を当てて学校の様子を少しお伝えしたい
と思います。

4月9日から1週間、学校と併せて町生活安全推進
委員会が窓口となり、春の交通安全街頭指導を行いました。



ボランティアで参加していただいた方は、御影交通安全部会、町内会交通・防
犯係、十勝清水ライオンズクラブ、御影小学校PTA、交通安全専門員、御影駐
在所の皆様です。

7時25分に学校正門前に集合していただき、
それぞれの持ち場に付きました。だいたい10分
後でしょうか、小学生が登校し始めます。する
と、子どもたちから元気な「おはようございま
す」の音が響きます。

その中、中高生も自転車登校をしています。彼
ら彼女らからも挨拶の声、直接関わらない生徒
さんから挨拶されると嬉しくなりますね。小学生
の中には、恥ずかしそうな子もいますが、大人の
姿勢が、小学校6年間または中学校を合わせた9
年間の中で挨拶の姿勢を培うのだと思っています。





火曜日には、三澤教育長も街頭指導のお手伝いに来ていただきました。

御影地区の挨拶の良さを話していると、「清水町は何年も前から『心響』の中で町ぐるみで挨拶を進めていますので。」と笑顔で答えられました。

挨拶は、子ども達の交通安全の意識も自然と高めますね。

清水中学校

『協働』を通して、つながる気持ち

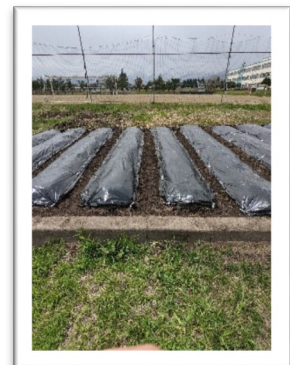
花壇作りが始まりました。5月の連休明けから、石や雑草を取り除き、土をおこし肥料を混ぜ、花を植える準備を進めてきました。そして5月17日、届けていただいた花



の苗を、事前に作成した設計図をもとに丁寧に配置し、やさしく植えていきました。沢山の色とりどりの花が咲き誇る様子が今から楽しみです。



恒例行事ではありますが、毎年こんなふうに花壇作りができるのも、保護者や地域の方々のおかげからです。連休前に固くなった土を重機で起こしてくれたPTA有志の皆さん。連休中、畑にマルチをかけ、畑作りに的確なアドバイスをくださった地域の方。コロナ禍で、同じ日に一



緒に作業することはできませんでしたが、思いはつながっていきます。今だからできる協働のかたちで、地域みなさんと共に、よりよい学校づくりを目指していきます。



今年はお断りした町内会の皆さんとも、ぜひまた一緒に花を植えたいです。その日がくると信じて、これからも頑張っていきます。

御影中学校

地域清掃・花壇作業

5月20日（木）、今年も生徒会書記局が中心となり、地域清掃を実施しました。

学年縦割り班3班に分かれて学校を出発し、御影地域を歩きながら、道ばたに落ちているゴミを拾い歩きます。普段から歩いている道ですが、改めて見ると、路上はもちろん隣接する草原などに多くのゴミが落ちていることに気づきました。

自分たちの住んでいる御影地域を少しでも自分たちの手できれいにすることができ、充実した活動となりました。

さらに、上級生や下級生が互いに協力し合うことで、学年をこえた全校生徒の一体感が生まれ、絆を深めることができました。

また、同日同時刻に学級の保健部部員は、学級花壇の花植えを行いました。花壇のデザインは、クラス全員で知恵を出し合い考え、当日までの期間で土起こしや肥料を入れるなど、地道な作業を行いました。どの花壇もそのクラスらしさが見られ、これから夏に向けて美しい花々が全校生徒や来校される方々の目を楽しませることでしょう。

この2つの活動を通して、よりよい学校づくり、町づくりを考え、一人一人が環境美化についての意識を高めることができました。



CS 委員会

“教育の四季” 12 の窓から 本年度の重点を話し合う

本年度第1回清水・御影CS(コミュニティースクール)委員会は、4月27日、しみず「教育の四季」推進協議会と兼ねて文化センターにおいて合同開催されま

した。

CS 委員会は、地域とともにある学校づくりのための学校運営協議会制度に基づくもので、清水町では3年目に入ります。



各委員への委嘱状の交付後、清水・御影に分かれ、前段のしみず「教育の四季」推進協議会において幼稚園長及び各学校長から説明のあった各学校等の経営方針について、それぞれのCS 委員会で承認をされました。

その後、清水町独自で取り組んでいます“しみず教育の四季”の本年度目標についてグル

ープに分かれ、「社会全体で子供たちを育むための家庭・学校・地域が年間を通し特に重点として取り組むべき事項」について意見を出し合いました。

全体会で報告された様々な意見を基に、



本年度の“しみず教育の四季”の重点目標を設定することとしています。

